



2022年10月17日

各位

会 社 名 株式会社ひかりホールディングス  
(コード番号1445 TOKYO PRO Market)  
代 表 者 名 代表取締役社長 倉地 猛  
問 合 せ 先 取締役経営管理本部長 立川 征吾  
T E L 0572-56-1212  
U R L <https://www.h-holdings.jp>

### 連結業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

本日付「2022年8月期決算短信[日本基準] (連結)」で公表した2022年8月期 (2021年9月1日～2022年8月31日) の連結業績につきまして、前期実績値 (2021年8月期 (2020年9月1日～2021年8月31日)) との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。なお、当社は当該期間に係る業績予想を公表していないため、増減につきましては実績値との比較となっております。

#### 記

#### 1. 2022年8月期通期 連結業績の前期実績との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値 (A) (2021年8月期)	3,343	62	57	84	320円08銭
当期実績値 (B) (2022年8月期)	3,641	△46	△42	△87	△336円57銭
増減額 (B-A)	298	△108	△99	△171	
増減率 (%)	8.9	—	—	—	

#### 2. 差異の理由

売上高は前期比で298百万円 (8.9%) 増加しました。総合建材事業の受注が好調に推移し、売上高は前期比で110百万円 (7.6%) 増加し、また、前連結会計年度末より連結子会社化した小林工業㈱の売上高198百万円計上されたことによるものです。

営業利益は前期比で108百万円減少しました。原材料費及び人件費の高騰等の理由により売上原価率が前期比で4.9ポイント悪化したことによるものです。

経常利益は前期比で99百万円減少しました。これは主に、営業利益の減少によるものです。

親会社株主に帰属する当期純利益は前期比で171百万円減少しました。これは主に、営業利益の減少、前期に負ののれん発生益24百万円、保険積立金解約益65百万円を計上していたことによるものです。

以上